



ごんごくろ

津山 だいすき!

わたしも ひびくと

利用者には最適な ごんごバスを 目指して

夏休みに、小学1年生と3年生の孫から「ごんごバスに乗ってみたい。どこまで走ってるんだらう?」と聞かれましたが、結局この夏には乗ることができませんでした。私も乗ったことがないので、ごんごバスに乗って津山中を回ってみたいと思いました。(上高倉・女性)

の4つの路線で運行しています。現在の運行表は、交通政策課(市役所4階)や津山広域バスセンターなどで確認していただけます。また、平成21年度には、ごんごバスの利便性を向上させるため「地域公共交通総合連携計画」を策定する予定です。この計画では、各バス間の効率的な乗り継ぎや公共施設間を適切に結ぶ新しい路線などを検討する予定です。今後、市民や利用者の方々の声をお聞きし、快適にご利用していただける「ごんごバス」を目指していきます。



問い合わせ先 交通政策課 32・2075、市内循環ごんごバスⅡ中鉄美作バス0867・44・2622、その他のごんごバス路線Ⅱ中鉄北部バス回27・2827

# わたしのおすすめ

## 美しい自然の中でリフレッシュ



津山ターゲットバードゴルフクラブ 会長 河本 敦さん(新野東)

ターゲットバードゴルフは、合成樹脂の羽根付きゴルフボールをパラソルに入れるまでの打数を競うスポーツです。

平成14年12月にクラブを結成し、現在30歳から80歳までの82人の会員がターゲットバードゴルフを通して心と体の健康づくりに励んでいます。

平成16年には会員や少年スポーツクラブなどと協力して専用コースを作りました。広大な横仙(那岐山、広戸仙、山形仙)を背景に、県下最大のため池・塩手池を見下ろしながらプレーできる本格的な芝コースです。

会員には10月に島根県で開催された「全国ターゲットバードゴルフふれあい大会」の優勝者・平

田勝茂さん(安井)を始め上級者が多く、みんな初心者にも親切丁寧にアドバイスします。

月に一度、体験教室も開催。美しい自然の中で実際にプレーしてみると、ターゲットバードゴルフの爽快さを感じていただけたと思います。道具も無料で貸し出しますので、気軽に体験しに来てください。

クラブハウスでの仲間たちとのコミュニケーションの時間も格別ですよ。

### 津山ターゲットバードゴルフクラブ

練習日 月3回程度  
 体験教室 毎月第1日 曜日午後2時~4時  
 ところ 津山市ターゲットバードゴルフ場(日本原)  
 問い合わせ先 津山ターゲットバードゴルフクラブ=河本さん 回36-4060、体験教室=勝北公民館 回36-2101



# 未来をひびかる 津山人

## 木工芸のすばらしさを伝えたい

木地師13代

小椋 芳之さん(鉄砲町)



平成19年4月、木地師および塗師技術保持者として市の重要無形文化財に指定された小椋芳之さんにお話を伺いました。

木地師になられたのは?

小椋家は木地師として約1200年続いています。わたしも子どものころから親の手伝いをしたり、自分で車のこまやおもちゃをこしらえて遊んだりしていたので、自然に家業を継ぎました。

今は「奥津千軒刻研出本漆塗り」という技法で盆制作一筋に仕事をしていますが、家業を継いだ

がみを生じて乾燥させると元の形状に戻りやすくなります。また漆塗なので、大事に使っていただけると、数十年間もちま

大きな盆(直径約60cm~90cm)の形の特徴は縁の幅が広いこと。昔は縁に盆を置いて料理を囲んだものです。今は飾りとなつているので、昔のものと比べると狭くしています。

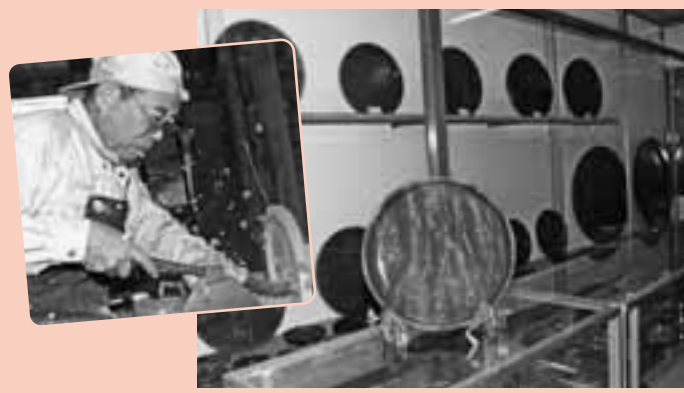
また通常の工房では塗り成形、あるいは作品の大きさに別に分業していますが、全部1人で制作しています。そのため1つの作品のすべての工程に目配りすることができ

どんな苦労がありますか? 今は木材の買い付けに岐阜県まで行っていますが、手ぶらで帰ることもありません。何と言っても良い木目の木材を手に入れることが難しくなりました。

また、江戸時代までは木製品が多く使われていましたが、明治以降になるとヨーロッパから輸入された陶器がもてはやされ、最近では安い中国製品が多く輸入されるなど、木地師の仕事が少なくなつてきています。だんだんと木製品の良さが見直され

つつありますが、輸入品には価

45年くらい前にはまだ「町仕事」が多くあり、合わせてすることで生計を立てていましたね。当時、中国山地の国有林に植林されていたブナやトチ、カエデなどを利用した木材加工の会社が津山には多くありました。わたしも田町にあったミシン会社から、ミシンの引き出しのくり抜きの仕事などを請け負うなどして生計を立てていました。しかし、25年くらい前にはブナなどはすべて切り尽くされてしまい、その後植えられたヒノキやスギなどは加工には不向きなものです。その結果「町仕事」がなくなり、盆の制作に打ち込むようになりました。



▲平成20年度岡山県展入選作品など

奥津千軒刻研出本漆塗りの特徴は?

木材から切り出した後、3年から5年ほど寝かせてじっくり乾燥させています。しっかりと寝かせたものは、湿気を帯びてゆ

格の面で太刀打ちできません。今後の夢は? 木製品の良さをもっと引き出すと、岐阜や富山、越前など、いろいろなお所に行つて塗りや彫りの研究をしています。

そういう積み重ねを経て、いつの日か日本伝統工芸展の賞を取りたいですね。展覧会に挑戦することで、良い木材を探す意欲が湧き、木目に合ったデザインを考える楽しみもできます。

また、賞を取ることで、少しでも多くの人に木工芸のすばらしさを知ってもらいたいですね。